

和庄中学校区 カリキュラムマップ

目指す児童生徒像

○自主的・主体的な行動ができる児童生徒

1 「育成を目指す資質・能力」の具体の姿

	知識・情報活用能力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	自己理解	感謝・貢献
後期	課題や目的に応じて必要な知識や情報を多様な方法から収集し、活用することができる。	既習の知識や情報を、比較・分類・関連付け、相手や目的・場面に応じて論理的に表現することができる。	自ら課題を進んで見付け、その解決に向けて、探究的に課題解決への挑戦をすることができる。	他者との関わりの中で、自分の長所や短所を正しく理解し、自分の役割を果たすと共に、自己の生き方について考えることができる。	自分が周りに支えられていることを自覚し、家族・地域・社会に感謝し、貢献することができる。
中期	課題や目的に応じて必要な知識や情報を収集し、活用することができる。	既習の知識や情報を、比較・分類・関連付け、相手意識をもって表現することができる。	自ら課題を見付け、その解決に向けて粘り強く挑戦することができる。	他者との関わりの中で、自分の長所や短所を正しく理解し、自分の役割を果たすことができる。	自分が周りに支えられていることを自覚し、家族・地域・社会に感謝し、協力することができる。
前期	様々な方法で、関連した情報を収集し、活用することができる。	既習の知識や情報を、比較・分類・関連付け、表現することができる。	自分の課題を見付け、その解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	他者との関わりの中で、自分の長所や短所に気付くことができる。	自分が周りに支えられていることに気付き、家族・地域・社会に感謝することができる。

2 カリキュラムマップ作成にあたり、発達段階ごとに大切にしたい視点

	大切にしたい視点	総合的な学習の時間、各教科等の特徴的な配列や重視した取組等	交流・感謝の手紙（感謝・貢献）
後期	自己の生き方を考える	「こんな人間になりたい」と志を語るができる生徒の姿を目指し、国語科を中心として文章構成や表現方法を磨き、総合的な学習の時間で、生き方に関わる学習活動等を通じて、「自己理解」を深めていく。それらを通して、最終的には自己の生き方を様々な場面で語るができるようにした。	
中期	社会と自分とのかかわりを学ぶ	社会科や総合的な学習の時間では、郷土の歴史や文化、産業を学習する際、課題解決に必要な情報を収集、活用、整理し、多面的・多角的に考察し表現する「知識・情報活用能力」及び「思考力・判断力・表現力」の育成を重点化して指導する。それらを通して、自己の成長には周囲の人々や地域社会との関わりが欠かせないものであることに気付かせるようにした。	
前期	自分を知る	3年生は、国語科での盲導犬にかかわる学習を取りかかりとして、総合的な学習の時間に福祉に関することを配置し、「人の役に立つことをしたい」という思いを持たせる。その取組をベースに4年生の総合的な学習の時間の「1/2成人式」では、“夢を持つ”発表ができるようにした。	

3 本中学校区のカリキュラムマップの特徴

自主的・主体的に行動ができる児童生徒の育成を目指して、総合的な学習の時間で、自分自身を見つめ、どうあるべきかを語るができるような単元を系統的に配列している。また、呉市の中でも歴史的・文化的に重要な宝が校区内に多く存在する特色を生かし、各教科においても地域社会との関わりを大切にしたい単元づくりを工夫している。

